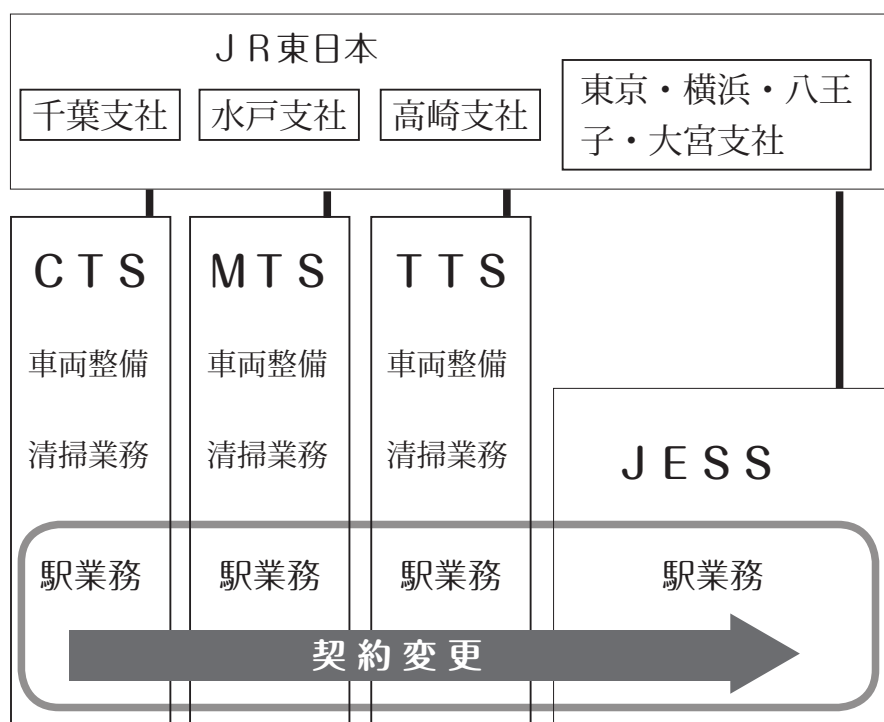


子会社再編で労働条件を破壊

駅業務 グリーンスタッフ→CTS→JESS



JR東日本は、駅業務に関連して7月1日に大規模な子会社の再編を強行します。

JR千葉鉄道サービス（CTS）、水戸鉄道サービス（MTS）、高崎鉄道サービス（TTS）の駅業務部門は、JR東日本ステーションサービス（JESS）に統合されます。

JESSは、東京・横浜・八王子・大宮の4支社での駅業務受託専門会社として一昨年4月

に設立されたJR東の100%子会社です。今回の再編により、CTSなどは駅業務がなくなり、逆にJESSの管轄範囲は首都圏全域に拡大します。

転籍のたびに賃金が低下する

JR東は、駅業務に従事する契約社員グリーンスタッフを5年で雇い止めし、JESSやCTSに再就職させる施策をとってきました。JRの正社員に登用されるのはほんの一握りだけなのです。

今回の子会社再編によって、CTSなどの社員として駅業務に従事してきた労働者は、「転籍にしなければ駅業務はできない」とJESSへの転籍が強いられています。

JESSは、CTSにはまだ残る年功型の賃金制度は跡形もなく、昇給は5年・10年・15年のわずか3回だけです。その昇給額は5～8千円程度です。

高校や大学を卒業後、契約社員グリーンスタッフとしてJR東に採用された若者が5年で雇い止めされ、CTSに再就職せざるをえなくなり、さらに今度はJESSへ転籍する状況になっているのです。その度に賃金その他の労働条件が低下することになります。

これらは東労組の協力で進んだ問題でもありません。動労千葉に加入し共に闘おう。